



鉄道で行く千葉



第12回

京成千葉線

Keisei chiba Line



京成千葉線をJR外房線の車両と並走して走る京成3000形車両(千葉中央駅～京成千葉駅間)



京成千葉線は、千葉市の千葉中央駅から習志野市の京成津田沼駅を結ぶ、12.9kmの路線です。京成上野駅と成田空港駅を結ぶ京成本線から京成津田沼駅で分岐し、一方の起点、千葉中央駅では、京成千原線と接続、直通運転も行われています。路線の大部分は、総武本線と京葉線の中間地帯を走り、時には総武本線と平行して車両が走る姿も見るができます。

京成千葉線が開通したのは1921年(大正10年)のこと。本線の船橋駅(現在の京成船橋駅)から津田沼駅(現在の京成津田沼駅)間と同時に、分岐する形で津田沼駅から千葉駅(現在の千葉市中央区・中央公園付近)間が開業しました。開業当時は、現在よりも遥かに海に近く海水浴客や、潮干狩りを楽しむ行楽客で賑わっていました。また住環境が良かったため、京成稲毛駅や西登戸駅周辺は別荘地としても栄えていました。

近年では、グループ会社である新京成電鉄車両の乗り入れで、新たなアクセスルートの確立を図っています。

現在活躍中の 京成千葉線の車両



3700形

1991年3月に登場。3000形が登場するまで通勤型車両の主力となっていた車両です。VVVFインバータ制御装置(注)の採用により、快適な乗り心地を実現しました。

(注)VVVFインバータ制御装置：主制御装置のこと。電気の強さを自由に調節することで「乗り心地の良さ」「保守作業の軽減」「省エネルギー」などの効果があります。インバータとは、電気を直流から交流へと変換するための装置のこと。



3600形

1982年6月に登場。オールステンレス車です。1997年より、8両編成化を行いました。また、改造工事で、VVVF制御装置を搭載した6両編成も登場しました。



3000形

2003年2月に登場。通勤型の主力となっている車両です。座席幅を従来の車両より20mm拡大するなど様々な改良が加えられています。



3300形

1968年に登場。1984年から1987年の間に冷房化改造工事がおこなわれ、当時は珍しい冷房車として活躍しました。



3500形

京成電鉄初のステンレス車両で、通勤型車両としては最初の冷房車として1972年12月から製造されました。



3500形(更新車)

更新車は前面のデザインが大幅に変更され、下部には障害物対策で排障器(スカート)が設置されました。

新京成電鉄の車両

京成千葉線には、松戸・鎌ヶ谷方面へのアクセス強化を図るため、新京成線が乗り入れています。(新京成線との直通運転においては、現在のところ新京成電鉄の6両編成の下記車両のみが乗り入れています)



N800形

2005年新京成線に既存の800形の入れ替えを目的に登場し、翌年から京成千葉線への乗り入れを開始した車両です。



8000形(旧塗装)

1978年に新京成線に導入された車両。京成千葉線には2006年から登場。(車両の両脇の色がデビュー当時のレトロカラー)



8000形(新塗装)

1978年から1985年までの間に54両が生産された車両です。8501を先頭とする編成(左:写真)とは両脇の塗装が異なります。



8800形

新京成線の主力車両で1986年に登場。現在、96両が活躍。京成千葉線には、2006年から乗り入れています。

そごう千葉店脇を京成津田沼駅方面に向かって走る、京成3300形電車(京成千葉駅手前)

京成千葉線に乗って。

京成千葉線の車窓から見える沿線の風景は、東京方面や千葉市方面へのアクセスの便利さから多くが住宅地になっていますが、京成稲毛駅や検見川駅付近では由緒ある神社やそれを囲む森などを見ることができます。

千葉中央駅から京成千葉駅周辺は、百貨店やオフィスビルが立ち並び華やかな都会のイメージですが、新千葉駅を過ぎた辺りからは、静かな佇まいの住宅が線路沿いに広がり車窓からの風景が一変するのが印象的な路線です。

検見川駅付近から京成津田沼駅の手前までは、JR総武本線とほぼ平行して走り京成幕張本郷駅のホームは、JR幕張本郷駅と同じ駅舎内に存在しています。

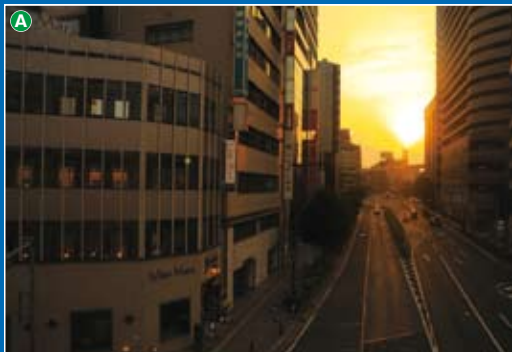


千葉中央駅から京成千葉駅間では、少し高い位置から千葉市内の繁華街を見渡すことができます。



車窓からの風景

スペシャルビューポイント



千葉中央駅から京成千葉駅付近の高層ビル群と夕焼け

京成千葉線からの車窓の風景、そのいちばん特別な瞬間。それはやはり、列車が京成千葉駅に差し掛かる時に見られる数々のビル群の姿でしょう。時間によって変化する光の角度で表情を変えるビル群は、何度目にしても同じ、という瞬間がありません。



京成千葉駅から新千葉駅へ向かう左側の車窓。ビルの合間から千葉モノレールの姿が見えます。



検見川駅を出てしばらくすると、左右に花見川が見えます。休日にはサイクリングや釣りを楽しむ人々で賑わいます。



京成稲毛駅から検見川駅間の沿線風景。戸建とマンションが入り混じった風景は、京成千葉線沿線の代表的な姿です。



京成幕張駅から京成幕張本郷駅へ向かう左側の車窓からは、幕張新都心のビル群の姿が見られます。

京成幕張駅を出てすぐ左。線路のすぐ近くに見える二つの社殿と白い鳥居の神社。これは、江戸時代中期の儒学者で、サツマイモの試作に成功し、その普及に貢献した青木昆陽が「芋神様」として祀られている昆陽神社です。

●京成千葉線で発見したお手軽グルメ&お土産！

京成津田沼駅

中華料理 タケちゃん

(京成津田沼駅 改札前のレストラン街内)



●五目ヤキソバ 820円(税込)

数あるメニューの中でお店の一押しとなっている一皿がこの五目ヤキソバ。細麺なのに独特の歯ごたえ、それに絡む具だくさんのあんかけが人気です。

京成稲毛駅

稲毛園本店

(京成稲毛駅前)



●濃茶生クリームロール
ハーフサイズ 880円(税込)

上質の抹茶(濃茶)と卵をふんだんに使った芳醇な生クリームロールケーキ。地元の人はもちろん、近くにある稲毛浅間神社を訪れた方にも人気の一品です。

京成千葉線で、創立100周年記念列車に乗ることができます。

京成電鉄では昨年から創立100周年を記念して、青電・赤電・ファイアーオレンジ塗装車両の「京成電鉄創立100周年記念列車」を運行しています。この記念列車3本全てが通常ダイヤにて運行されており、往年の人気カラー列車に運が良ければ出会えるかもしれません。



青電

青電塗装車両:ダークグリーンとライトグリーンの2色に塗装した車両。2009年6月30日から、21年ぶりに運行。



赤電

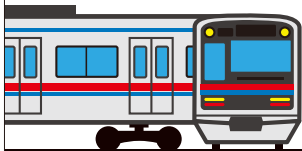
赤電塗装車両:上半分をモーンアイボリー色、下半分をファイアーオレンジ色の2色に塗装し、帯にはステンレスの枠内にミスティパベンダ色を配した車両。2009年8月25日から、2年ぶりに運行。



ファイアーオレンジ塗装車両

ファイアーオレンジ塗装車両:ファイアーオレンジ色にモーンアイボリー色の帯が入った車両。2009年9月19日から、16年ぶりに運行。

京成千葉線の、家族で出かけられる遊び場情報



**鉄道で
出かけよう!**

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

花見川サイクリングロード

検見川浜から千葉市花見川区にある弁天橋までを結ぶ約13kmのサイクリングロードです。

東京湾に面する検見川浜がコースのスタート地点。ここにある検見川浜海浜公園は、海水浴やボードセーリング、ウインドサーフィンなどマリンスポーツ全般が楽しめる砂浜です。コースはここから花見川の脇をひた走り、弁天橋にいたります。

サイクリングロードの沿道にはいくつもの公園や豊かな自然が残された場所が点在し、自転車で楽しむことはもちろん、ゆっくり散歩をしながら寄り道して家族でお弁当を楽しんだりすることもできます。また春には見事な桜並木を楽しみに多くの人が訪れます。

終点の弁天橋付近は、野鳥観察地域にもなっており、うっそうとした森、自然のままの形で残されている川など、ありのままの自然を楽しむこともできます。



花見川の正式名称は印旛沼放水路。八千代市内では新川、千葉市内では花見川と呼ばれています。サイクリングロード沿道には公園も点在し、トイレも設置されています。また川辺では釣りを楽しむ人も、あちらこちらで見かけます。

稲毛浅間神社

京成稲毛駅から駅前の「稲毛せんげん通り商店街」を歩いて5分。そこにうっそうとした大きな森が見上げるように現れます。千葉市の指定天然記念物にもなっている松林が広がる稲毛浅間神社の入り口です。地域の人々から「せんげんさま」と呼ばれている同神社は、808年(大同3年)、富士山本宮浅間大社から分霊をお迎えしたことから始まるとされる由緒ある神社。主神には安産子育ての守護神、木花咲耶姫命(このはなのさくやひめのみこと)を祀っています。

1年を通して様々な年中行事が開かれています。特に、夏の大祭と初詣が有名で、どちらも毎年約30万人もの人々が訪れます。

大祭は毎年7月14・15日。15日には千葉県無形文化財の指定を受けている十二座神楽が奉納されます。



▲本殿



▲二の鳥居



▲初詣客で賑わう境内



▲奉納された絵馬

- 交通 / 「京成稲毛駅」より徒歩約5分
- 駐車場 / あり 80台(無料)
- 問い合わせ / 043-272-0001
- 住所 / 〒263-0034 千葉市稲毛区稲毛1-15-10
- 公式サイト(<http://www.inage-sengenjinja.or.jp/index.html>)

駅前発見! 探してみよう!

千葉中央駅前広場にある ピラミッドのモニュメント!

千葉中央駅、改札を出て左。道に突き当たり、右前方。そこに石畳が敷かれた広場があります。その中央を見てみると、そこにはなんと石造りのピラミッドが。その正体は、定期的に水が流れ落ちる涼しげなモニュメント。周りには小さな池もあって、街中の憩いの場となっています。



調べてみよう! 京成千葉線クイズ?

京成津田沼駅改札前のレストラン街にあるタケちゃんで食べられる一押しのグルメは?

1. あんかけチャーハン
2. 五目ヤキソバ
3. エビソバ

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解、市川市動植物園で一番人気の動物は、「3」レッサーパンダでした。